

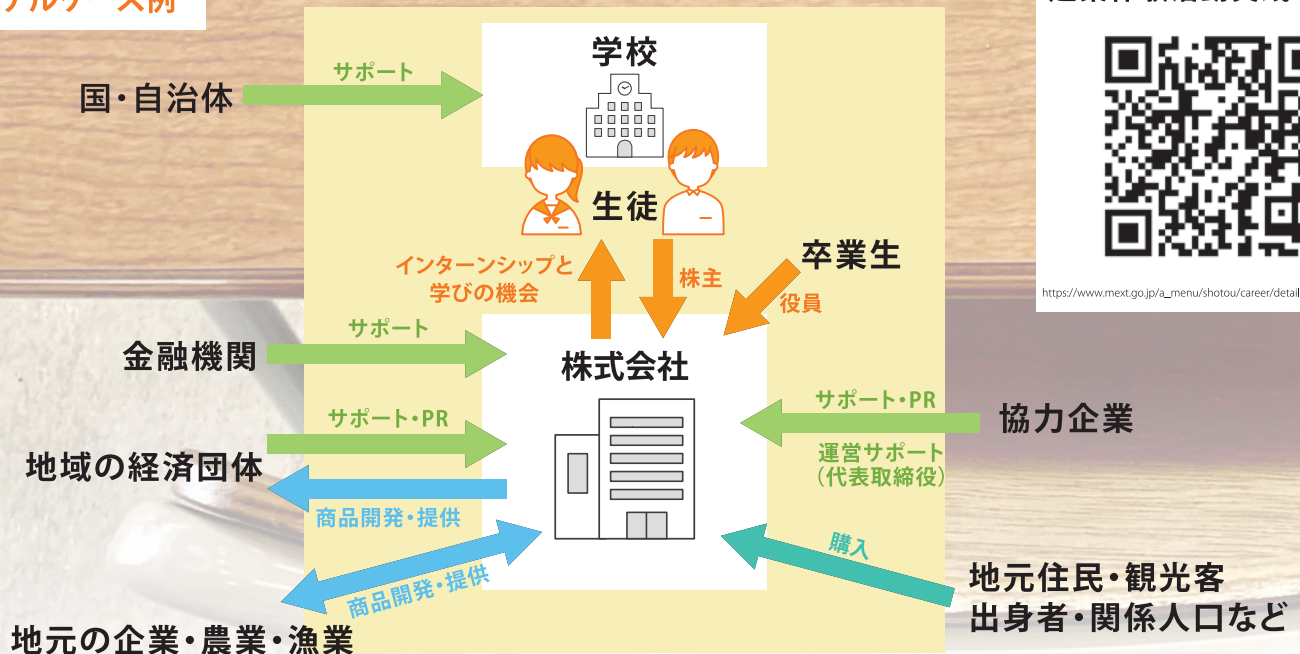


# 学生が起業する。

地域と連携し、実社会で学ぶ。  
その仕組みを全国の学校で。

近年、自ら考え、選び、行動できる力を育てる  
キャリア教育の重要性が高まっています。  
文部科学省では平成28年度より  
「小・中学校等における起業体験推進事業」を実施。  
子どもたちが社会とのつながりを実感しながら  
主体的に学ぶ取り組みを進めてきました。

## モデルケース例



## 小・中学校等における 起業体験活動実践事例集



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/detail/mext\\_01822.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_01822.html)

# 関わる人たちのリアルな声

生徒



社会と関わり合って活動することの難しさを学びました。しかし、様々な活動を主体的にやることや、自分のやりたいことを大人を巻き込みながらやっていくことの大切さも学ぶことができました。この活動は、先生やコーディネーターの大人の方々が、僕たちが安心して活動する土台を作ってくれたからこそできたと感じています。

Student

指導教員



Teacher

今回の取り組みは教員も初めての取り組みでした。その中で、失敗してもいいから一緒に考えていける地域の方と協業できたことが大きな強みだと感じています。また、外部講師の方々が生徒に良い影響があるのはもちろん、我々教員もなかなか外部の方と関わる機会がない中で一緒に授業ができたことはバックアップ体制としてありがたかったですし、良い機会をいただきました。

校長



Principal

実社会にいかに価値を転化できるかというところが大きな成果だと思っています。生徒たちが考えて作ってきた商品をただ作るだけでなく、株式会社という枠の中で販売活動することで生徒たちの新たな学びや課題のビルドアップ、将来を本気で考えることにもつながると感じています。

地域企業

Support Partner

高校生が社会に出たときに本当に役に立つ、社会と繋がった学びということを基盤にこの事業に関わってきました。社会につながる挑戦を高校生がすることが社会に繋がる学びだと思えます。それを学ぶために株式会社を設立し客観的なフィードバックを得ることが本気の学びに繋がると考えています。



※今回の株式会社化に際して、社長として生徒と一緒に成長し、地域活性化につなげる役目も担っています

地域企業



DX Support Partner

個々がやりたいと思っていることを探して役割分担を行い、実際に仕事をして気づきや学びを得ていくということを大切に高校生と関わってきました。この活動を通して多くの気づきを生徒からもらっています。同じチャレンジする仲間として今後も関わっていけたらと思っています。

今まで行ってきた起業家教育のプログラムでは、ビジネスというものを知る・成功体験を積むこと・地域と関わることを大切に活動してきました。また、地域の企業が発展していくためには「知ってもらう」ということが大切になってきます。その面において高校生と企業が関わるというのは大きな意味があると考えています。

Business Support Partner



産業支援拠点

株式会社設立(富山県立氷見高等学校)や  
模擬株式会社(富山県立商業高等学校)の  
事例紹介はこちらから！



<https://himico-bridge.com/monka/>